

技術名		適応遠隔制御技術(仮)		
開発者		日本電気株式会社		
NETIS番号		NETIS未登録		
技術概要		<p>・本技術は、通信の実行伝送量を予測し、伝送量に見合う安定した映像と制御が可能な技術である。</p> <p>・本技術の活用により、操作コマンドの到達遅延や映像配信の遅延を予測し、操作の行き過ぎの発生を抑制するとともに安定した映像を伝送することができる。</p> 		
必要な機器、装置、操作・映像の無線の周波数		車載カメラ×1台、映像送受信用PC×2台、無線装置×1セット コマンド送受信用PC×2台、モニター×1台、2.4GHz帯無線LAN		
必要な能力、資格		資格は不要		
対象施設(対象とする作業)		遠隔操縦を必要とする作業		
性能評価項目	映像の解像度【A-1】	映像の解像度	送信側	1920×1080
			受信側	750×700
			【従来技術参考値】 解像度	640×480
			(当該技術の解像度) / (従来技術の解像度)	送信側 1920×1080 / 640×480 受信側 750×700 / 640×480
	性能評価(値が大きいが高性能)		送信側 6.75 受信側 1.71	
	映像の安定性【A-2】	伝送遅延時間	伝送遅延時間	328ms
			【従来技術参考値】 伝送遅延時間	358ms
			(当該技術の遅延時間) / (従来技術の遅延時間)	328ms / 358ms
			性能評価(値が小さい方が高性能)	0.92
	作業効率性【A-3】	一定規模当たり 施工時間	施工時間 (30m3当たり施工時間)	25分33秒
			【従来技術参考値】 施工時間(30m3当たり施工時間)	60分
			(当該技術の一定規模当たり施工時間) / (従来技術の一定規模当たり施工時間)	25分33秒 / 60分
性能評価(値が小さい方が高性能)			0.43	
総合所見		遠隔操縦の映像の解像度、映像の安定性、作業効率性は、従来技術より優れ、遠隔操縦における作業効率向上に資する技術と考えられる。		

参考値	機器の設置・解体時間	機器設置	設置時間	1時間40分程度
			【従来技術参考値】 設置時間	2時間程度
			調整時間	45分程度
			【従来技術参考値】 調整時間	1時間程度
	機器解体	解体時間	25分程度	
		【従来技術参考値】 解体時間	1時間程度	
	経済性	機器費用	機器単価	研究開発段階の技術であるため、機器費用について社内調整中。
			設置費用	
撤去費用				
調整費用				